

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和2年2月6日(2020.2.6)

【公開番号】特開2018-106380(P2018-106380A)

【公開日】平成30年7月5日(2018.7.5)

【年通号数】公開・登録公報2018-025

【出願番号】特願2016-251247(P2016-251247)

【国際特許分類】

G 06 F 15/02 (2006.01)

【F I】

G 06 F 15/02 3 1 5 F

【手続補正書】

【提出日】令和1年12月18日(2019.12.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

演算数と複数の被演算数とを入力する入力部と、

入力部により入力された前記各被演算数を前記演算数で演算した結果である各第1結果と各第2結果とをそれぞれ合計した第1結果合計と第2結果合計とを表示させる制御手段と、

を備えることを特徴とする計算装置。

【請求項2】

演算は商余り計算であり、

前記第1結果は前記被演算数を前記演算数で除算した商であり、

前記第2結果は前記被演算数を前記演算数で除算した余りであることを特徴とする請求項1に記載の計算装置。

【請求項3】

前記第2結果合計が前記演算数より大きい場合、前記制御手段は第2結果合計が前記演算数より小さくなるように、繰り上げを行った後の第1結果合計と第2結果合計とを表示させることを特徴とする請求項2に記載の計算装置。

【請求項4】

前記入力部は、演算指示キーを備え、

前記制御手段は、前記入力部により表示数値が入力された後に前記演算指示キーが一回だけ入力されると、前記表示数値を被演算数に設定し、その後に入力された別の数値を前記演算数について演算を実行する

ことを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか一項に記載の計算装置。

【請求項5】

前記入力部は、演算指示キーを備え、

前記制御手段は、前記入力部により表示数値が入力された後に前記演算指示キーが連続して入力されると、前記表示数値を被演算数に設定し、その後に入力された別の数値を前記各被演算数として演算を実行する

ことを特徴とする請求項1乃至請求項3のいずれか一項に記載の計算装置。

【請求項6】

前記演算数がリセットされた新たな演算において、前記演算数と同じ演算数を用いた演

算が行われると、前記制御手段は、前記第1結果合計と前記第2結果合計に、前記新たなる演算による第1結果と第2結果を合計して表示させることを特徴とする請求項1乃至請求項5のいずれか一項に記載の計算装置。

【請求項7】

計算装置の入力部により入力された各被演算数を演算数で演算した結果である各第1結果と各第2結果とをそれぞれ合計した第1結果合計と第2結果合計とを制御手段によって表示させることを特徴とする計算装置の表示方法。

【請求項8】

計算装置用のプログラムであって、

計算装置の制御手段に、

入力部により入力された各被演算数を演算数で演算した結果である各第1結果と各第2結果とをそれぞれ合計した第1結果合計と第2結果合計とを表示させる処理を、少なくとも実行させることを特徴とするプログラム。